

AALA ニュース 11 号の内容紹介

ウクライナ以外の話題が過半数となったので、いったん“ウクライナ特集”のサブタイトルは外すことにします。

1. 田中靖宏「ASEAN の歩みから学ぶこと」

安保破棄実行委員会に寄稿した論文を転載したものです。

2. 新藤通弘「第 9 回米州首脳会議の評価」

6月に行われた、合同講演会の内容を紹介します。講演会の名称は「我らのアメリカと米州諸国会議」です。

最初は中心になって会議を企画した新藤さんから、討論の方向付けとなる報告を収載します。

3 S.イシカワ(ベネズエラ大使)講演

最初の講演はベネズエラ大使セイコウ・イシカワさんの講演です。ラテンアメリカで起きつつある「新しい時代の到来を告げる怒涛の出来事」について語っています。そして「我らのアメリカの統合」こそが進むべきと強調しています。

4. N.サラサール(ボリビア臨時代理大使)講演

ボリビアは昨年、米国によるクーデターを跳ね返し自主・民主政治の再建に成功しました。サラサールさんは民主政府から派遣された臨時代理大使として着任されました。

5. M・A・ラミレス、キューバ大使の発言

大使は特別発言で、米州首脳会議の対抗として組織された ALBA-TCP (われらがアメリカ諸国ボリバル同盟 = 諸国民貿易協定) について説明しました。そして、米州首脳会議にはもはや未来はないと強調しました。

6. 公開書簡「ウクライナ戦争の停戦を仲介してください」

会員からの紹介です。

正式名称は「国際連合 アンтониオ・グテーレス事務総長宛て 日韓市民・研究者の公開書簡...ウクライナ戦争の停戦を仲介してください」というものです。「停戦交渉の早期開始」に焦点を合わせていることが特徴です。

7. ウクライナ問題に関連する3つの資料

大西先生よりウクライナ問題に関する3編の資料提供を受けたので掲載します。

資料1 ケニア国連大使の国連安保理における発言(2022年2月21日)

資料2 南アフリカ国連大使の国連総会緊急特別会合における演説(2022年3月1日)

資料3 中国李克強首相のウクライナ情勢に関する記者会見における応答(2022年3月11日)より

8. 夏衍「原子爆弾に思う」

8月を間近にして、反核に関する記事を2編掲載します。最初は1945年8月、原爆投下の直後に書かれた記事です。「超キューズ」ですが、核兵器と国連が双子のように生まれたのだということを実感させる、「歴史に埋もれさせてはならない文章」です。大西先生の教室の方の翻訳です。

9. 水戸部秀利「Peace Wave 集会へのメッセージ」

宮城 AALA の機関紙に掲載されていて、大変立派な文章なので、お願いして転載させていただきました。「拙文ですが、私の思いを共有していただける方が多くなれば大変ありがたいです。どうぞ、ご利用下さい」とのご返事です。

10. タス通信「スティグリッツの予言」

タス通信がアメリカの Web サイトから転載したものです。スティグリッツが大胆な予想をしています。

追加： 山崎先生がブラジルの政治について浩瀚な論文を発表されました。ネットからご覧いただけるので紹介します。

「ブラジルの 2016 年政変と政治の新しい動き」『エコノミア』第 72 巻第 2 号（21 頁 - 45 頁）

<http://hdl.handle.net/10131/00014553>